

6月26日（月）、あおぞら・たんぼぼ・ひまわり学級の3～6年生の学習グループの児童を対象にして国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は「伝えよう 聞き取ろう」です。この単元では、宝物を紹介する活動を通して、自分の伝えたいことをきちんと伝えたり、友達の宝物について大事なことを聞き取ったりすることができるようにします。

初めに、ウォーミングアップとして、「聞いてさがそう」という活動をしました。これは、絵地図を見ながら、どこを出発して、どこに到着したのかを聞き取る練習です。教師が経路を読み上げます。子どもたちは、教師が話す内容に集中し、出発地と到着地を聞き取りメモに書くことができました。また、その間の経路もしっかりと聞き取り、絵地図上になぞることもできました。



【経路を確認する児童の様子】

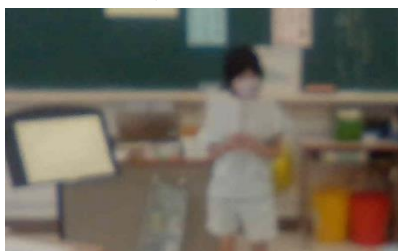
次に、宝物を紹介します。紹介の前に、話すとき・聞くときに気を付けるポイントを確認しました。教師が、よい発表の例と悪い発表の例を模範で示し、どのような発表がよいのかを児童に気付かせました。

- ＜話すときのポイント＞
- ・ 聞く人を見る
  - ・ 声の大きさ
- ＜聞くときのポイント＞
- ・ 話す人を見る
  - ・ 拍手をする
  - ・ 質問をする



【気を付けるポイント】

そして、いよいよ発表です。一人ずつ前に出て、紹介メモを基に発表をしました。メモ用紙は「はじめ・中・おわり」という話の順序が分かるように色分けされていました。それにより、児童は、話す内容を整理し、筋道を立てて話すことができました。すると、他の児童から質問が出て、宝物について詳しく知ることができました。中には、実物を持ってきて見せながら紹介する児童もいました。



【メモを基に紹介する児童】



【宝物を見せながら紹介する児童】

最後に、学習の振り返りをしました。友達が紹介した宝物が何だったのかを、タブレットのロイロノートというアプリを使ってクイズ形式で振り返りました。友達の宝物について、大事なことを落とさず聞き取ることができている様子でした。

どの学級にも、人前で話すことが苦手な児童がいます。話したいことを整理することが難しい児童もいます。そんなとき、教師が横に立ち、質問をして児童が答えるという形を取ったり、メモ用紙の色を工夫して話す順序を分かりやすくしたりします。これからも、一人一人に合った支援の仕方を考えていきたいです。